

子育て支援に関する活動を補助金で応援！

平成29年度

盛岡市子ども・子育て支援事業を募集します。

市は、市民や地域活動団体、企業などが自発的に取り組む子ども・子育て支援活動を推進するため、「盛岡市子ども未来基金」を設置しています。

この基金からの助成を受けて実施する、子ども・子育て支援の取組を募集します。

対象事業

学習支援、世代交流支援、虐待予防、結婚期・子育て期の支援活動 など

補助額

- ◇ 一般枠
活動費20万円まで全額補助。活動費20万円を超える場合は補助率4/5。上限50万円。
- ◇ 推進枠（市が指定する重点取組項目）
活動費300万円まで全額補助。

応募方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。また、申請に当たってのご相談をお受けしますので、担当まで気軽にお問い合わせください。

☆応募締め切り☆
平成29年3月31日（金）



もりおかの子育て支援

平成28年度はこんな事業に活用されました

- ◇ ママとキッズの交流広場
地縁組織が主体となり、家庭で子育てをしている母親同士の交流事業を開催。
- ◇ 親子と地域がつながる情報交流
子育て応援アプリの開発による子育て情報の発信。



28年度採択事業として取り組まれた子育て応援サロンのようす。

担当 保健福祉部子ども未来課企画係
電話：019-613-8356



News & Topics

不登校理解支援セミナー

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター（又川俊三理事長）は、2月11日（土）、「不登校対応チャートから学ぶ回復までの支援ステップ」と題して標記セミナーを開催しました（学生の保護者24人が参加）。



講師は、「不登校」という言葉を日本で初めて用い、国の教育施策にも大きな影響を与えたFR教育臨床研究所の花輪敏男所長で、家庭内での親と子の関わり方のポイントや不登校から回復するステップなどについて、さまざまな事例を用いてわかりやすく解説されました。

同法人の尾形センター長は「不登校を解決する万人に共通するマニュアルはないが、本セミナーが保護者の皆様にとって、子どもとの接し方やこの問題への向き合い方などを捉え直す良いきっかけになれば。」と話していました。

平成28年中に盛岡市が新たにNPO法人として認証した団体を紹介します



団体名：ストラクチャークラブ・ジャパン
活動目的：心構造疾患による疾病を抱える患者およびその治療に従事する医療関係者に対して、その治療方法である「SHDインターベンション」に関する情報の提供や共有をする事業を行うことにより、心疾患治療の向上を図り、もって国民の健康福祉的な利益の増進に寄与することを目的とする。

団体名：能楽を広めようの会
活動目的：子どもを中心とする様々な人たちに対して、能楽師によるワークショップや能楽鑑賞会等を行い、能楽の普及を図り、我が国の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

団体名：岩手ECC救命救急医療教育研究会
活動目的：会員相互の協力により、医療従事者、一般市民等に対する救命救急及びこれに関連する医療技術・知識等の普及、情報提供、支援事業を行い、心肺危機に陥った市民の救命、社会復帰に寄与することを目的とする。

回															
覧															

発行：盛岡市市民部市民協働推進課
〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL：019-626-7535（直通）
E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp
（平成29年3月発行）

地域資源を生かしたまちづくり



2月3日（金）、4日（土）に紺屋町番屋リノベーションプロジェクト実行委員会と県主催で、紺屋町番屋（盛岡市紺屋町4-3）にて社会実験「紺屋町ひぶせ座プロジェクト」が開催されました。

この社会実験は官（市）所有の遊休不動産である紺屋町番屋に、民間の収益事業（寄席・飲食事業）を展開し、収益の一部を維持管理に充当す

る公民連携事業として、紺屋町番屋の今後の活用方法とその事業性を検討することを目的として行われました。

当日は両日ともに多くの方が訪れ、和気藹々と寄席や飲食を楽しみ、紺屋町番屋に賑わいの火が灯っていました。イベント後も来場者から多くの好評の声が寄せられました。

平成28年度の“地域協働”取組地区を紹介합니다

市内に30あるコミュニティ推進地区のうち、次の12地区で地域づくり組織が作られ、「地域づくり計画」に基づく様々な事業が行われています。

各地区の活動は、盛岡市公式ホームページや「つながるわ」のバックナンバーなどに掲載されています。

青山地区

子どもフェスティバル(防災教室)

団体名
青山地区まちづくり協議会
スローガン
人のわで
みんな元気なまち青山



活動テーマ
①盛岡一あいさつのすてきなまち青山
②盛岡一住みやすいまち青山
③盛岡一安心して生活できるまち青山
④盛岡一にぎわいのあるまち青山
ホームページURL
<http://www.aoyamaakarenga.jp/index.html>

松園地区

協議会・地元町内会・市による協働事業

団体名
松園地区自治協議会
スローガン
松園、いいよね!



活動テーマ
①子どもから高齢者まで元気なまち
②冬も安心、快適なまち
③子どもの個性を育むまち
④だれもが便利に暮らせるまち
⑤松園ガーデン・花と自然と調和したまち
ホームページURL
<http://matsuzono.info/>

城南地区

由緒板の設置と管理

団体名
城南地区地域づくり委員会
スローガン
住みよいまち古都「城南」



活動テーマ
①古都の風情が似合う安全なまちづくり
②古都の商い賑わうまちづくり
③古都の文化のいきづくまちづくり
④古都の心がかようまちづくり

乙部地区

乙部地域宝マップ
乙部の災害写真集
わたしたちの故郷のうた

団体名
乙部地域協働のまちづくり
事業推進委員会
スローガン
協働のまちづくりは
乙部の未来を創る



活動テーマ
①生涯スポーツ活動の振興
②福祉・文化活動の振興
③安心・安全活動の推進

洺民地区

啄木弁当の作成

団体名
洺民地区自治会連絡協議会
スローガン
石川 啄木と
自然を活かした里づくり



活動テーマ
①啄木の里づくり
②自然景観・歴史文化を活かした里づくり
③湧水と自然エネルギーによる里づくり
④安全安心な農畜産物による里づくり
⑤利便性に恵まれた安全な里づくり

巻堀姫神地区

高齢者交通安全教室

団体名
巻堀姫神地区福祉推進会
スローガン
美しい自然と思いやりの
ふるさと巻堀姫神



活動テーマ
①みんなで取り組む安全なまちづくり
②人と人がふれあうまちづくり
③歴史から学ぶまちづくり
④美しい自然を生かしたまちづくり

※「地域協働」とは？

各コミュニティ推進地区内の様々な団体（町内会・自治会や老人クラブ、PTA、NPO、商店会や企業など）により構成された、地域づくり組織と盛岡市が、相互に連携・役割分担してまちづくりを進めることにより、地域活動の担い手の育成や、地区の課題解決を図るための取組です。

市は、各地区の地域づくり組織が作成した、地域づくり計画に基づく地域協働事業の実施に対し、地域づくり事業補助金を交付し、活動の支援を行っています。



東厨川地区

東厨川地区「雪まつり」

団体名
東厨川地区福祉推進会
スローガン
歴史が薫る
桜とみどりのまち東厨川



活動テーマ
①歴史を生かしたまち
②安全・安心なまち
③交流が盛んなまち
ホームページURL
<http://higashikuriyaga.jp/>

山岸地区

町内会ラジオ体操

団体名
山岸地区福祉推進会
スローガン
自然豊かで
みんな元気なまち山岸



活動テーマ
①安全・安心なまち
②みんな元気なまち
③自然が豊かなまち
④歴史を生かしたまち
ホームページURL
<http://www.livable-yamagishi.jp/>

本宮地区

本宮ゆいっこまつり

団体名
本宮地域協働協議会
スローガン
安全安心と活力あるまち本宮
だれもが暮らしやすいまち本宮



活動テーマ
①防犯・安全・防災のまちづくり
②本宮地域誰もが住みよいまちづくり

つなぎ地区

グリージャ盛岡との交流会

団体名
つなぎ地区振興福祉推進
協議会
スローガン
自然と景観の調和をはかり
人と人との交流をもたらす 住みよいつなぎ



活動テーマ
①心地よい景観をもたらすまちづくり
②安心と安全のまちづくり
③人と人がふれあうまちづくり

玉山藪川地区

そば打ち体験交流

団体名
玉山藪川地区福祉推進会
スローガン
豊かな自然と伝統文化を
生かした 安心して暮らせる 地域づくり



活動テーマ
①思いやりのある安全安心な地域づくり
②農村風景を大切に自然環境保全と
地域活性化に進む地域づくり
③誰もが訪れたい地域づくり

好摩地区

ミスバショウ公園の整備

団体名
好摩地区まちづくり協議会
スローガン
活気に満ちて
魅力あふれる・好摩



活動テーマ
①自然が豊かなまち
②ちょっと歩いて、何でもできるまち
③誰もが安心して暮らせるまち
④魅力あふれるまち
⑤活気に満ちたまち